



福祉よこはま

社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会



「福祉よこはま」は、横浜市が編集に協力しています

特集 ヨコハマで、すぐヨコへ。「ヨコ寄付」

さまざまな組織・人でつくる 子どもによりそう学習支援 ～コロナ禍に生まれた支えあいの取組～



学習会に参加している高校生と講師の大和田さん(7月21日撮影)
→詳しくは特集で

もくじ

福祉の仕事 地域学校協働活動推進員(学校・地域コーディネーター) p4

ボラセン情報 助成金の活用
～ ボランティア・非営利活動を支える財源“助成金”について学ぶ～ p5

市社協情報 「ヨコ寄付」の紹介～ヨコハマで、すぐヨコへ。～ p6

福祉よこはま最新号と
バックナンバー▶

福祉よこはま 検索



ヨコハマで、
すぐヨコへ。
「ヨコ寄付」※1

さまざまな組織・人でつくる 子どもによりそう学習支援

～コロナ禍に生まれた 支えあいの取組～

地域に根差し、 地域の困りごとの解決に貢献したい

令和3年6月、横浜市社会福祉協議会と包括連携協定(※2)を締結し定期的な話し合いをもつ中で、ひとり親世帯の困窮と学習支援についての課題があると伺いました。そこで、つながりのあったシルバー人材センターに講師の派遣を相談したところ良い人材が見つかり、話が具体的に進みました。これにより、ひとり親世帯への支援とシルバー人材センターに登録されている方々の経験が活かせる機会にも貢献することができました。

横浜信用金庫ソリューション支援部地域連携課▶
汐見さん



子どもたちが育ち 世の中に出ていくために

「子どもに学習意欲があってもなかなか塾に通わせることが難しい」という保護者からの声を横浜市社会福祉協議会に届けたところ、各団体からのご支援が受けられ実施しています。学習支援に参加して「家庭での勉強の仕方がわかった」という声も聞こえてきています。

◀横浜市母子寡婦福祉会
参与 清水さん



経験を活かして社会に貢献したい

シルバー人材センターには、人生や社会経験が豊富でプロフェッショナルな会員が多く登録されていますが、経験を活かせる仕事がなかなか提供できず課題となっていました。この取組に協力することで、社会的・公益的な取組に携われ、能力を発揮してもらうことができました。

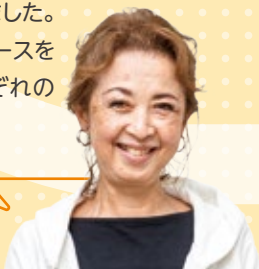
◀横浜市シルバー人材センター
事業企画課担当課長 村田さん



注目して褒めてあげること

最初は生徒と距離を感じていましたが、だんだんと教えることが楽しくなってきました。一人ひとり、英語が身についていくペースをキャッチしながら教えています。それぞれの子の良い所に注目して褒めています。

講師 飯塚さん▶



落ち着いた場づくりと楽しい時間に

教える方も教えられる方も、話しやすい場づくりが大切だと思っています。子どもたちに教えるために自分自身も勉強し活気をもらえるので楽しみです。

講師 大和田さん▶



※2 包括連携協定とは…相互に連携して、横浜市内の地域福祉活動を推進し、SDGs(※3)の視点を踏まえて、身近な地域の支えあい及び地域貢献活動の活性化を図ることを目的として締結された協定

※3 SDGsとは…2030年に向けて世界(国連加盟193か国)が合意した「持続可能な開発目標」のこと

「子どもを塾に通わせることができない」ひとり親世帯の保護者から寄せられた子どもの教育に関する不安の声に、**さまざまな関係機関が連携して**令和3年11月から始まった「**ひとり親世帯への高等教育進学に向けた学習支援**」を紹介します。

※1 「ヨコ寄付」とは…「ヨコハマで、すぐヨコへ。」をコンセプトに、横浜市社会福祉協議会が皆様からの寄付金を活用し、既存の制度やサービスでは対応ができない困りごとの解決を目指す取組です。

この取組の きっかけ

さまざまな機関の知恵や強みを活かして 可能性は何倍にも広がりました

ひとり親世帯への食の支援を通じて得た保護者からの声をもとに、母子寡婦福祉会と意見交換を行ったところ、高校生の進学に向けた支援の場がないことがわかりました。そこで「ヨコ寄付」の仕組みを活用し新しい取組を始めることにしました。

ひとり親世帯の高校生を対象に、市内の福祉保健活動拠点で開催する参加費無料の学習会とし、必要な経費は皆様からの寄付を活用しています。

令和4年度からは、進学のイメージを持ってもらえるよう、大学生ボランティアにも協力してもらっています。

横浜市社会福祉協議会▶
ヨコ寄付推進担当課長
舟田さん



◀横浜市社会福祉協議会ヨコ寄付推進担当 長谷川さん

学習会に参加している高校生のコメント

- 先生に教えてもらうようになって英語が面白くなった。将来は教師になりたい。
- 専門学校のスポーツ科に進学したい。英語は世界に出るときに何事にも通用するので身に付けたい。勉強もするが、先生や学生ボランティアさんと学校や友達の話をするのが楽しみ。
- 理解のスピードに合わせて教えてくれるので英語が身についていると感じています。
- 質問をすると、すぐに、わかりやすく教えてくれます。

目標実現のための活動を支えたい

戸塚区福祉保健活動拠点機能の活用をきっかけとして、生徒の皆さんが進学という目標をもって学べる様に支援したいと思います。

この活動を通じて、区社会福祉協議会においても若者たちの夢を応援するような取組や地域づくりを模索していきたいと考えています。

戸塚区社会福祉協議会▶
事務局長 安部さん



自分自身も励まされています

高校生の少し上の年齢なので、進路のこと、受験のこと、大学生活のことなど世間話をするように話したいと思っています。目標を持って、資格や進学を目指して勉強する高校生の姿に自分も頑張ろうと励まされています。

大学生ボランティア▶



ヨコ寄付

「ヨコ寄付」の紹介は
P6市社協情報でも
ご案内しています。



「ヨコ寄付」への
寄付はこちら

ヨコ寄付 検索



地域学校協働活動推進員 (学校・地域コーディネーター)

こうがや 幸ヶ谷小学校 幸ヶ谷共育倶楽部事務局代表

さえき み か
佐伯 美華さん に聞きました

地域の人とのつながりがある学校は、
大人も子どもも
共に育っていく場になります。

この活動を始めたきっかけ

- ▶ 娘が通っていた幸ヶ谷小学校のPTA活動がひと段落した頃、当時の校長先生から横浜市教育委員会の学校・地域コーディネーター養成講座を受講してみてもどうかと勧められました。その後、学校支援のボランティア組織「幸ヶ谷共育倶楽部」の事務局として立ち上げから参加し、今の活動を続けています。

日々の活動

- ▶ 先生から活動サポート依頼が入ると、登録者あてにメールで募集をします。校外学習やスポーツテストなど内容はさまざまで、1日に40名を募集することもあります。活動がある時は、学校に来てサポーターに直接会って声をかけるようにしています。自分がサポーターとして参加することもあります。また、幸ヶ谷共育倶楽部が学校と協働で行う体験プログラム「ハッピー & スマイル・デー」(通称ハピスマ)の企画・開催もしています。

心がけていること

- ▶ 先生が授業に集中し、やりたいことが最大限に可能になるよう、またサポーターには、ボランティアは楽しい、次回も協力したいと思ってもらえるよう心がけています。サポーターの名前を覚えて挨拶したり、直接会って感謝の気持ちを交換したりすることを大切にしています。たくさんの地域の人々が学校に関わり、子どもたちが地域の人と出会う場づくりを目指しています。

喜び、やりがい

- ▶ 日々の活動の中で感謝の気持ちをもらうことで、常にポジティブな思考でいられます。幸ヶ谷共育倶楽部が目標にしている「大人も子どもも共に育とう」を自分でも体現したいと思っています。SDGsを学んでいる子どもたちに刺激を受けて、本を読んだり、講座に参加したりするだけでなく、思い切って、先進的な取組をしているデンマークまで学びにいきました。日々、学校で子どもたちと接することがきっかけとなり、いろいろな人たちとつながりを持ちながら今の活動に携わることができています。

地域学校協働活動推進員 (学校・地域コーディネーター)とは

学校と地域の架け橋となって、教育活動のねらいと、地域の特性や地域の方々の得意なことを上手に結びつける役割があります。教育委員会からは「地域学校協働活動推進員」として委嘱されますが、横浜市では「学校・地域コーディネーター」の呼称でその役割を担っています。

「幸ヶ谷共育倶楽部」

「大人も子どもも共に育とう」をテーマに2009年に設立されたボランティア組織。保護者を始め、地域住民、教師を目指す学生などが、幸ヶ谷の子どもたちの教育環境をサポートしています。会員登録制で2022年4月現在、約300名の方が学校支援に参画しています。



▲ 共育倶楽部のマスコット
てんとう虫の「ボコア・ボコ」

◀ 子どもたちに活動の説明をすることもあります。



全面芝生化した小学校校庭の
芝生張り替えの様子



コーディネーターや地域の活動に興味のある人へ

学校・地域コーディネーターには学校と地域を結びつける役割があり、住んでいる地域や先生、子どもの学年などに合わせた活動を行っています。ボランティアとして、この活動の趣旨に賛同し、協力してくれる人たちが増えるとありがたいです。ご自身の特技や知識など、学校の授業で学ばないようなことを教えてくれる方、学校や子どもとの関わりを通じて経験の幅を広げたいと考えていらっしゃる方は、各学校のホームページなどで調べてみてください。

学校・地域連携
推進事業とは
横浜市
ホームページ



幸ヶ谷共育
倶楽部
文部科学省
ホームページ



◆ この記事に関するお問合せは
横浜市社会福祉協議会 企画部企画課 ☎ 045-201-2090

横浜市内の福祉人材に
関する求人情報

横浜市介護人材関連情報
ホームページ



助成金の活用

～ボランティア・非営利活動を支える財源“助成金”について学ぶ～

横浜市社協ではボランティア・市民活動団体向けに、さまざまな民間助成金の情報をホームページに掲載しています。助成金を申請する時のポイントや活用することによって得られる効果などを、一般財団法人非営利組織評価センター 業務執行理事の山田泰久さんに教えていただきました。



山田泰久さん▶



「助成金」って知っていますか？

助成金とはひとことでは、活動団体を応援するための資金で、ボランティア活動をするために必要なお金を支援してくれるものです。融資とは異なり、返済の必要はありません。

助成金の一般的な対象経費

- 活動全般にわたる費用
 - 事業としてのイベント費用
(会場代、備品購入代、告知印刷物や活動報告書の作成費など)
- 事業実施に幅広く活用できますが、人件費は対象外のことが多いです。

助成金申請時のポイント

申請書は読みやすく書くことが第一

助成金の獲得は、申請書を作ることから始まります。申請書は、①活動団体の情報、②助成金の趣旨を踏まえた内容が簡潔にまとめられている必要があります。助成金を出す側が何を知りたいかを理解して読みやすい文章にすることが大事です。

応募する助成金のスケジュールを確認し、余裕をもって準備を進めましょう。
支援機関に推薦書の作成を依頼する場合は、作成にかかる日数を確認しましょう。

助成金の活用で得られる効果

- 1 お金がないために取り組めなかった活動が、助成金の活用で実現、実施することができる
- 2 助成金を受けるといことは、外部の団体から信頼されている証しであり、団体としての信頼性が高まる
- 3 助成金を活用した事業の実施を通じて、さまざまなノウハウを得ることができる。その実績を報告することで、団体のPRにつなげられる

山田さんからのメッセージ

助成金の獲得にチャレンジすることは、改めて自分たちのこれからの活動の見通しを立て、今までの活動を見直すきっかけになるのではないのでしょうか。団体としての未来予測と振り返りのなかで、自分たちの「活動の価値」を見極め、アピールすることが助成金獲得の近道になると思います。

助成金情報

横浜市・区社会福祉協議会では、皆さまからの寄付金を財源に、「よこはま ふれあい助成金」を実施しています。

より豊かな市民社会の実現のために、市民の自発性のもと、横浜市内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障害福祉推進事業の支援を目的としています。

- 区域での活動を支援する「継続的奨励助成」…区社協受付分
※募集時期については、各区社協にお問合せください。
- 市域で新たに取り組む事業を支援する「地域福祉保健計画助成」…市社協受付分
(令和5年度分説明会)令和4年11月21日(月) 午前10時～(オンライン開催予定)

その他の民間助成金について

地域で活動するボランティア団体は、身近な地域のボランティアセンターをはじめとした中間支援組織などの情報を活用することをおすすめします。

横浜市や社会福祉協議会等で実施している助成金については、「令和4年度市民活動・地域活動支援制度ガイド」を参考にご覧ください。

支援制度ガイド
ホームページ



市民活動団体向け 助成金セミナーを開催します！

今回お話を伺った山田さんを講師に迎え、市民活動団体にとっての助成金とは何か、助成金を活用することの意味などをお話しいたします。ぜひご参加いただき、これからの活動に活かしてください。

日時 令和4年11月10日(木)
午前10時～12時(オンライン開催)

※講座の申込方法など詳細は、下記横浜市ボランティアセンターホームページをご覧ください。



横浜市ボランティアセンターより

各区で実施している
ふれあい助成金については
こちらにお問合せください

横浜市内18区の
ボランティアセンター
ホームページはこちら▶



この記事や
助成金セミナー、
ふれあい助成金説明会に
関するお問合せはこちら

横浜市
ボランティアセンター
ホームページはこちら▶





「ヨコ寄付」の紹介 ~ヨコハマで、すぐヨコへ。~

「ヨコハマで、すぐヨコへ。」をコンセプトに、本会が皆様からの寄付金を活用し、既存の制度やサービスでは対応ができない困り事の解決を目指す取組です。

企業・団体等の多様な主体の参加を促し、連携することにより、さまざまな支援事業を実施しています。また、新たな社会課題への支援も検討しています。この取組を分かりやすく伝え共感の輪を広げ、

官民間わず多様な立場の方々と連携し、地域共生社会の実現を目指しています。

これまでに、高校生を対象とした学習支援事業のほか、ひとり親世帯の新一年生へのランドセル寄贈、困窮した女性へ向けた生理用品の配布など、さまざまな取組を進めています。詳しくはホームページをご覧ください。

「ヨコ寄付」の最新情報は
こちら



【問合せ】ヨコ寄付推進担当
☎045-201-8620

賛助会員のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。令和4年4月1日～7月28日 新規受付・継続受付分

団体会員

- NPO法人 そうの歌 様
- 株式会社 ジェイ・エス・ビー・ネットワーク 様
- 丸五運輸 株式会社 様
- モービルオート 株式会社 様
- 株式会社 エースプラン 様

- 横浜商工会議所 様
- 株式会社 江戸清 様
- 大黒倉庫 株式会社 様
- 三澤太雅法律事務所 様
- 株式会社 アースアンドウォーター 様

個人会員

- 佐藤 龍樹 様

賛助会員・
賛助会費の
ご案内



【問合せ】横浜市社会福祉協議会 総務部
☎ 045-201-2096

みんなのきもち ありがとう

みなさまからお寄せいただいたご寄付は、地域の助けあい、支えあい活動のため、有効に活用させていただきます。



寄付者の取組紹介

読み終えた本の寄付を通じた地域貢献活動（横浜信用金庫様）

横浜信用金庫は、令和4年4月にブックオフコーポレーション株式会社（以下、「ブックオフ」）及び本会と連携協定を締結しました。

同金庫では、地域に根差した金融機関として地域のお客様にSDGsや地域貢献への関心を寄せていただきたいという想いから、3者での連携により「ヨコハマ寄付本」の取組を実施しています。この取組は、同金庫の全営業店61店舗及び本部3か所の計64か所に回収BOXを設置し、読み終えた書籍等を寄付していただくものです（※ATM専用店舗には回収BOXはありません）。

ご寄付いただいた書籍等はブックオフにて査定され、買取金額のすべてが同金庫名義で本会に寄付されます。

今回の3者協定の締結は、これまで本会が進めていた「ヨコハマ寄付本」の更なる広がりとなり、読み終えた本の寄付を通じた地域貢献活動の推進に繋がっています。

横浜信用金庫からのコメント

横浜市社会福祉協議会と締結した包括連携協定の一環として、地域福祉に貢献しようと企画したものです。当金庫の幅広い店舗網を活用し、回収BOXを多数設置することで、より多くの皆様に気軽に寄付いただけるようにしました。

これにより、地域の皆様に寄付をより身近に感じていただくことのお手伝いができれば当金庫にとっても幸いです。



▲横浜信用金庫に設置されている寄付本の回収BOX

「ヨコハマ寄付本」
取組、回収場所についてはこちら



横浜市ボランティアセンターでは、寄付のご相談をお受けしています
☎045-201-8620

寄付者のご紹介

ご支援・ご協力ありがとうございました。順不同 令和4年4月1日～6月30日受付分

善意銀行 金銭寄付者

- 横浜信用金庫 理事長 大前 茂 様 (2件)
- よこはまシニアボランティアポイント登録者 様
- 株式会社 ツカサベトコ 様
- 株式会社 高栄設備工業 様
- 日清オイリオグループ 株式会社 様
- 匿名 (10件)

善意銀行 物品寄付者

- 株式会社 セブン-イレブン・ジャパン 様 (2件)
- 藤田観光 株式会社 WHG事業部
横浜桜木町ワシントンホテル 様
- 宮内建設 株式会社 様

- 公益財団法人 みずほ教育福祉財団
理事長 塚本 隆史 様 (2件)
- 大石 善教 様
- 株式会社 又兵衛 様
- 匿名 (2件)

よこはま あいあい基金寄付者

- よこはまシニアボランティアポイント登録者 様

障害者年記念基金寄付者

- よこはまシニアボランティアポイント登録者 様

福祉基金寄付者

- よこはまシニアボランティアポイント登録者 様
- 匿名 (1件)

ヨコハマ寄付本寄付者

- 横浜市保土ヶ谷区社会福祉協議会 様
- NECネットエスアイ 株式会社 神奈川支店 様
- 横浜市社会福祉センター 利用者一同 様 (2件)
- いづみの会 様
- 横浜市磯子区社会福祉協議会 様
- 横浜市神奈川区社会福祉協議会 様
- 横浜市篠原地域ケアプラザ 様
- 匿名 (53件)

みんなの声



前号の感想

副業ではありますが、私もガイドヘルパーの仕事に従事しております。利用者様に少しでもお役に立てる様に、楽しく外出して頂ける様に心がけていますが、なかなか難しい場面もあり自問自答しながら取り組んでいます。生涯現役で続けていきたいと思っています。

(栄区 T.M)

学生さんのスマホ講座のボランティア、浜口先生の一言にもありましたが、学生さんにとってボランティアの世界に触れ、いい機会、経験になったのではないかとわたしも思いました。どちらかというと「アナログ派」なので、このような講座の開催はとても羨ましく思います。機会があればわたしも是非是非参加してみたいです。

(泉区 K.S)

「イチから手作り、学生たちのスマホ講座」は素晴らしい取り組みだと思います。この様な活動が広報を通じて知られることで、どんどん広がるとよいと思います。ポーチが素敵だったので応募しました。

(栄区 匿名)

そろくんとたからくんの映画が出来たことが知れて貴重でした。以前出席した講演会で浅川さんと息子さんを見かけたとき、とても心に響くお話を聞いたので映画も是非見たいと思いました。

(鶴見区 ありもとさん)

以前勤務した病院に重症心身障害児施設があり、直接の会話は無いものの子どもの笑顔、日々がんばる姿に励まされた記憶があります。今でも時々思い出しますが、心が温まります。

(戸塚区 Y.K)

浅川さんご家族の記事を興味深く読ませて頂きました。ガイドさんの存在が当事者の日々の成長に大きく関わっていること、また支援している側にも良い影響があり、互いに支え合っている姿を感じました。地域の方々の温かい目があってこそだと思います。

(港北区 H.Y)

福よこクイズ

ご応募・ご感想
お待ちしております!

障害福祉サービス事業所トロワランド

「絞り染めてぬぐい」プレゼント!

神奈川県にある生活介護の事業所です。運営する法人として3つ目にできたので、フランス語で3を意味する「トロワ」が名前についています。手作り製品のほか、近隣で採れた野菜の販売なども行っています。事業所は市営地下鉄三ツ沢上町駅前にあります。お近くにお越しの際は、ぜひいらしてください。

トロワランド Facebook▶



てぬぐい2枚と
ぬぐい便利帳の
セットです

色はお任せください

- Q1** 特集:「ヨコハマで、すぐヨコへ。」横浜市社協で寄付を活用した取組を「ヨコ〇〇」と言います。(漢字2文字)
- Q2** 福祉の仕事:学校と地域のかげ橋となって、教育活動のねらいと、地域の特性や地域の方々の得意なことを上手に結びつける役割を担う人を横浜では、「学校・地域〇〇〇〇〇〇〇〇」と言います。(カタカナ8文字)
- Q3** ポラセン情報:横浜市社協・区社協では豊かな市民社会の実現のために、横浜市内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障害福祉推進事業を支援する「よこはまふれあい〇〇〇」を実施しています。(漢字3文字)

応募方法

はがき・FAX・Eメールにて、右に記載の項目をご記入のうえお送りください。

抽選で**15名**の方に**プレゼント**を差し上げます。

締め切り:
令和4年10月28日(金) 必着

【応募先】

〒231-8482
横浜市中区桜木町1-1
横浜市社協

「福よこクイズ」係

FAX: 045-201-8385

Eメール: fukuyoko@yokohamashakyo.jp

「福よこクイズ」応募フォーム▶

【個人情報取扱】

※応募に関わる個人情報については、当選者への発送及び福祉よこはま紙面作成の参考にのみ利用させていただきます。

【項目】

- 1) Q1~3の答え
- 2) 郵便番号・住所
- 3) 氏名(ふりがな)
- 4) 年齢 5) 電話番号
- 6) 福祉よこはまの入手方法
- 7) 福祉よこはまの感想
- 8) 「みんなの声」次号掲載時の氏名の掲載可否(匿名希望の場合はイニシャルを記載)



前号203号の福よこクイズの答えは、Q1: ボランティア Q2: ガイド Q3: 市民 でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

(特集)学ぶこと、知ることで心が動きます。将来の夢を語る高校生が、学習に取り組む真剣な眼差しに心を打たれました。いつまでも学び続ける姿勢を持ちたいと思いました。

(福祉の仕事)学校ボランティアの現場では、日々「ありがとう」や「お願いします」という言葉があふれているそうです。どの地域にも、子どものために何かしたい、特技を活かしたいと思っている方が多くいるのではないのでしょうか。さまざまなボランティアがあることを知ってもらえる機会となれば幸いです。

次号▶No.205 令和4年12月発行予定

〈発行〉
社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会
〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1
☎045-201-2090
FAX: 045-201-8385
Eメール: fukuyoko@yokohamashakyo.jp
URL: https://www.yokohamashakyo.jp

〈デザイン〉
株式会社 オールスタッフ

「福祉よこはま」は、共同募金配分金の一部を活用して発行しています。



横浜市社協は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

広告

アナタも身近な「見守りの担い手」に!

例えば ご近所同士で契約トラブルの情報提供
消費者被害で困っていたら消費生活センターを案内

高齢者に多い消費者トラブル

- ①お試しのつもりが定期購入
- ②無料点検からの強引な屋根工事勧誘
- ③金融商品の甘い儲け話



消費生活相談電話

TEL.845-6666
FAX.845-7720

横浜市消費生活総合センター

令和4年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料（1名あたり） 団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	[新設]特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円			
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額	6,500円			
	手術保険金	入院中の手術	65,000円		
		外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額	4,000円			
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)	初日から補償		
地震・噴火・津波による死傷	×	○	○		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)			
年間保険料		350円	500円	550円	

商品パンフレットは
コチラ



(ふくしの保険
ホームページ)

*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)